

世界初^(※1)「iVポケット」を2個搭載し、別売の「iVDR-S」で録画・再生が可能な
地上・BS・110度CSデジタルチューナー「^{ウー}Wooo」を発売



IV-R1000

株式会社日立製作所コンシューマ事業グループ(グループ長&CEO：江幡誠/以下、日立)は、「iVポケット」を2個搭載し、別売の着脱可能なHDD「iVDR-S」^(※2)を使用して録画・再生が楽しめる地上・BS・110度CSデジタルチューナー「^{ウー}Wooo」IV-R1000を11月15日から発売します。

IV-R1000は、着脱式HDD「iVDR-S」対応の「iVポケット」を搭載し、「iVポケット」搭載のテレビ「Wooo 01シリーズ」で「iVDR-S」(別売)に録画したコンテンツを、本機を接続した別の部屋にあるテレビで楽しむことができます。さらに地上・BS・110度CSデジタルチューナーで受信したデジタルハイビジョン放送^(※3)を、別売の「iVDR-S」にそのままの画質で直接録画できるほか、2つの「iVDR-S」間で、録画番組をムーブ(移動)することも可能です。さらに、別売の「iVDR-S」にデジタル放送を録画中に、「iVDR-S」に録画した番組を再生するなど、多様な使い方が可能です。

■型式、価格および発売日

iVDR-S録画・再生機能付き地上・BS・110度CSデジタルチューナー


型式	iVポケット	発売日	本体希望小売価格	当初月産台数
IV-R1000	2個	11月15日	オープン価格	3,000台/月

■開発背景と意図

日立は、2003年10月にハイビジョンHDDレコーダー搭載のプラズマテレビを発売して以来、「録画ができるテレビ」の使いやすさの進化を追求し、お客様から幅広い支持を得ています。2007年春には、世界で初めて「iVDR-S Built-in」を内蔵し、さらに着脱可能なHDD「iVDR-S」(別売)に対応した「iVポケット」を搭載した「Wooo 01シリーズ」を発売し、これまでの録画機能に「増やせる」「移せる」機能を加えることで、「録画ができるテレビ」をさらに進化させ、テレビの楽しみ方を広げてきました。

今回、「iVポケット」を2個搭載し、別売の「iVDR-S」を利用して録画・再生が楽しめる地上・BS・

110度CSデジタルチューナーを発売することで、既に「iVポケット」搭載テレビを購入したユーザーが、「iVDR-S」に録画したコンテンツを書斎や寝室など別の部屋のテレビで楽しむことができます。デジタル放送の視聴と、すぐに番組を録画できる便利な機能を提案することで、これまでWoooが提案してきたデジタル視聴の新しいスタイルを、さらに多くのユーザーに提案します。

※  は3つの「Wo～」を意味しています。

(Wonder—驚きがある。World standard—世界の新しい基準である。Worthwhile—高い価値がある。)

*1: デジタルチューナーにおいて。2007年9月現在、日立調べ。

*2: 「iVDR」は、「iVDR 技術規格」に準拠することを表す商標です。(Information Versatile Disk for Removable usage)

「iVDR-S」は著作権保護方式である「SAFIA」を搭載した iVDR-Secure のことです。

「iVDR-S Built-in」は、著作権保護方式である「SAFIA」を搭載した内蔵型の iVDR-Secure のことです。

デジタル放送の録画には、著作権保護方式である「SAFIA」を搭載した HDD「iVDR-Secure」(iVDR-S)が必要です。

*3: BS・110度CSデジタル放送を視聴するには、本機に加え、BS・110度CSデジタルハイビジョンアンテナの設置が必要です。また、分配器やブースター等をご使用の場合はBS・110度CSデジタル放送対応の各種伝送機器が必要です。地上デジタル放送を視聴するには、地上デジタル放送に対応したUHFアンテナが必要です。

■ **製品紹介ホームページ** 「日立 Wooo ワールドホームページ」 URL: <http://av.hitachi.co.jp/>

■ **お客様からのお問い合わせ先およびカタログ請求先**

お客様相談センター

電話：0120-3121-11 (フリーコール)

時間：9:00～17:30 (月～土)、9:00～17:00 (日・祝日)【年末年始をのぞく】

<新製品の主な特長>

■ 地上・BS・110度CS デジタルチューナー搭載

地上・BS・110度CSの3つのデジタル放送に対応したデジタルハイビジョンチューナーを搭載しています。デジタルハイビジョンの高画質、高音質を楽しめる(*1)ほか、番組表や連動データ放送にも対応、多彩なデジタル放送コンテンツをお楽しみいただけます。

*1:P.2 *3 参照

■ 「iVポケット」を搭載した便利な録画機能

1. 別売の着脱可能なHDD「iVDR-S」(*2)に対応した「iVポケット」を2個搭載

別売の着脱可能なHDD「iVDR-S」を使用して、デジタルハイビジョン放送の録画(*3)・再生ができます。また、「iVポケット」を2個搭載しているため、「iVDR-S」間でハイビジョン画質のまま最大約9倍速(*4)の高速でムーブ(移動)することができるほか、家族一人一人が自分だけのディスクを持ったり、映画などのジャンルに分けて番組を録画するなど、ユーザーの使用シーンに応じて録画を楽しむことができます。さらに、別売の「iVDR-S」にデジタル放送を録画中に、別の「iVDR-S」に録画した番組を再生するなど、多様な使い方が可能です。

*2:P.2 *2 参照

*3:コピー禁止の番組はのぞく。

*4: TSEモード(11Mbps)録画時・レート変換なしの場合



「iVポケット」と「iVDR-S(別売)」

2. ハイビジョン画質で約2倍の録画時間を実現する「XCodeHD」を採用

HDトランスコード/トランスレート技術「XCodeHD」(*5)を採用したTSEモードを搭載し、デジタルハイビジョン放送を無変換で録画するTSモードと比較して、ハイビジョン画質のまま約2倍の長時間録画を実現しました。別売の160GBの「iVDR-S」を2個使用(計320GB)した場合、ハイビジョン画質で640GB相当(約64時間)(*6)の録画が可能です。

*5:カナダ(トロント)に本社を置くViXS Systems Inc.のHDトランスコード/トランスレートテクノロジー

*6:TSEモードで録画時、HDD容量に換算した場合。番組により録画時間は短くなる場合があります。

<別売 iVDR-S(160GB/80GB)で録画した場合の録画時間の目安>

録画モード	画質(目安)	録画時間		対応放送
		160GB (別売 iVDR-S)	80GB (別売 iVDR-S)	
TS(HD)	デジタルハイビジョン画質	約 15 時間	約 7 時間	BS/CS デジタルハイビジョン放送
		約 20 時間	約 10 時間	地上デジタルハイビジョン放送
TSE	デジタルハイビジョン画質	約 32 時間	約 16 時間	デジタルハイビジョン放送
TS(SD)	デジタル標準画質	約 46 時間	約 23 時間	デジタル放送
XP	DVD 画質	約 32 時間	約 16 時間	デジタル放送
SP	S-VHS 画質	約 63 時間	約 31 時間	
LP	VHS 画質	約 123 時間	約 61 時間	
EP	VHS3 倍モード画質	約 200 時間	約 100 時間	

■ 使いやすさの向上

1. 豊富な接続端子

デジタル放送の高画質・高音質をお楽しみいただくために、デジタルインターフェースとして利用頻度の高い HDMI 端子を装備しました。その他 D4 端子、S 端子、コンポジット端子も装備しており、さまざまなテレビとの接続が可能になっています。また、光デジタル音声出力端子を装備しており、外部アンプと接続することで、デジタル放送の 5.1ch の音声を楽しめます。

さらに、市販の SD/MMC メモリーカードに記録したデジタルカメラの写真を、テレビの大画面で楽しめる SD/MMC メモリーカードスロットを装備しています。

2. デジタル放送もすばやく起動する「クイックオン」

電源オン時の起動時間を大幅に短縮し、すばやくチューナーを起動できます。

3. かんたん操作

付属のリモコンで、チューナー部の操作はもちろん、別売の「iVDR-S」を「iV ポケット」に装着して、録画・再生機能も簡単に操作することができます。また、電子番組表 (EPG) から録画したい番組を、リモコン操作で録画予約できる「かんたん録画予約」や、別売の「iVDR-S」に録画した番組内容をすばやく確認できる、画像付きの「サムネイル表示機能」など、日立の録画機能付きテレビで定評のある機能を採用しています。

■ 省エネ設計

リモコン等の操作が約 2 時間行なわれない場合に、自動的に電源をオフする「無操作電源オフ」を搭載し、省エネに配慮しています。

■ 主な仕様

型式	IV-R1000	
受信チャンネル	地上デジタル	000-999 (CATV パススルー対応)
	BS デジタル	000-999
	110 度 CS デジタル	000-999 (右旋円偏波)
チューナー	地上・BS・110 度 CS デジタル×1	
iV ポケット	○ (2 個)	
入出力端子	HDMI 出力端子	1
	D4 出力端子	1
	S2 ビデオ出力	1
	ビデオ出力	1
	光デジタル音声出力	1
	電話回線接続端子	1
	LAN 端子	1
SD/MMC メモリーカードスロット	1	
アンテナ入力端子	UHF (地上デジタル) 入力×1、BS/CS-IF 入力×1	
消費電力 (待機時)	20W (0.7W)	
本体外形寸法 (幅×高さ×奥行)	30.8×6.4×18.5cm (背面端子含まず)	
本体質量	1.5kg	

*: 本仕様は、予告無く変更することがあります。

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
